

日中友好のしんぶん

大阪と中国

●編集・発行

特定非営利活動法人

大阪府日本中国友好協会

〒543- 大阪市天王寺区大道5-4-6
0052 大阪スカウト会館2F

TEL06(6770)0080 FAX06(6770)0707

●発行日 2012年5月1日 No.226

●定価 200円

宛先：大阪府日中(jcf@mail.infomart.or.jp)

<http://www.kaigisho.com/jcf>

題字は王个簪氏



(上左・下左) 歓迎レセプションでスピーチする唐家璇会長

(上右) 会見の場での唐家璇会長と谷井会長

(下右) 関西空港での唐家璇会長ご一行の入国歓迎表示

5月19日(土) 第12回通常総会を開催

- 主な内容 ●
 - ◇ 第12回通常総会 事業報告・事業計画案
 - ◇ 唐家璇中日友好協会会長歓迎レセプション
 - ◇ 地区協会NEWS
 - ◇ 友好交流レポート

第12回通常総会のご案内

平素は格別のご協力、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当協会は、第12回通常総会を下記の通り開催いたします。今年は日中国交正常化40周年に当たりますので、民間の立場で一層の日中友好促進に努めたいと思います。

ご多忙とは存じますが、お誘い合わせて多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

2012年4月吉日

特定非営利活動法人 大阪府日本中国友好協会
会長 谷井 昭雄

●と き：2012年5月19日(土) 14:00～18:00

●と ころ：リーガロイヤルNCB 3F「楓の間」 TEL:06-6443-2251

大阪市北区中之島6丁目2番27号 中之島センタービル内

14:00～15:20

◆第12回通常総会

- 議案：第1号議案 2011年度事業、決算報告について
第2号議案 2012年度事業計画及び予算について
第3号議案 役員の一部交替について

15:30～16:20

◆記念講演

講演 「日本と中国、未来に向けて」

俳優 中野 良子



1978年、映画「君よ憤怒の河を渉れ」が好評を博し、翌年、訪中。太陽熱吸収構造の学校や教育番組を共同制作、緑の平和大使。日本伝統芸能、青少年観光団大使として日本の心を伝え続ける。日、中、台合作ドラマ「陽光天使」に出演。アジア大会や清水寺と西安大慈恩寺の式典にて「さくら」を歌う。日中国交正常化40周年記念映画「女優」に出演。著書「星の詩」。

《会場地図》



- 京阪電車 中之島線中之島駅②番出口徒歩約3分
地下鉄 千日前線阿波座駅⑨番出口徒歩約7分
中央線阿波座駅③番出口徒歩約10分
市バス 大阪駅(JR南口)から約15分(53系統船津橋下車スク)
淀屋橋④番出口約10分(88系統土佐堀3丁目下車)
J R 環状線野田駅より徒歩約13分
東西線新福島駅より徒歩約10分
・リーガロイヤルホテルから西へ約3分。お間違えないよう！

16:30～18:00

◆懇親レセプション 3F「花の間」

◆会費：5,000円

*立食形式、会員以外の方もお誘いください。

*ご出欠にかかわらず、同封のハガキまたはFAX用紙で5月11日までにご返事をお願いいたします。

ご家族の会員の場合は、代表の方のみに案内をお送りしておりますが、併せてご記入ください。ご欠席の方は、必ず委任状に署名、捺印くださるようお願いいたします。

2011年度事業報告

はじめに

3月11日に発生した東日本大震災は、原発事故とあいまって未曾有の災害をもたらした。私たちの日中友好活動もまた、その影響を被り、中国との往来は縮小し、友好交流にも影響が及んだ。

この時期だからこそ、民間友好交流を積み重ねて相互理解、相互信頼の助成をめざす私たちの役割、責務は大きいと思ひ、日中国交正常化40周年を視野に入れつつ、着実に活動を進めたいと考えた。

そのためには、協会体制強化が図られなければならないとして、谷井会長が率先して当協会の組織・活動改革を始めることになった。また、10月には事務所移転を行った。

I. 来年の日中国交正常化40周年に向けての事業

中秋明月祭の前夜祭として、また東日本大震災支援、プレ日中国交正常化40周年のタイトルで、中国総領事館と共催して「日中文化交流の夕べ」を開催した。中国側は新疆親情中華芸術団、日本側は、高橋樺子、河内音頭ヤンレー節・鳴門家寿美若が出演した。当日9月16日は雨降りにもかかわらず、中之島

中央公会堂に800名が駆け付けた。協会としては、会員に対して整理券を配布して来場を促した結果、会場は満席となり、友好ムードあふれる催しとなった。

II. 組織改革

第1回理事会（5月30日）で、谷井会長から「世の中が変わった。府協会としてもそれにふさわしい活動が必要、私も頑張るのでご協力を」と、「協会の発展改革について」が提案された。

1. 発展改革委員会として次の3委員会を設置して活動

- 1) 本部強化委員会……組織運営の見直し、地区協会との関係強化
- 2) 会員拡大委員会……会員拡大、特に法人の入会をはかる。
- 3) 財務強化委員会……財政の見直し

*12月21日、本部委員会を設置。本部委員は発展改革の具体化について討議し、運営委員会に提案する。

2. 運営委員会

第3回理事会（1月26日）で谷井会長が、「大阪府日中友好協会の基本姿勢」を提案し、従来の正副理事長会議に、会長が参加する運営委員会の設置と常

活動日誌

2011年4月～2012年3月

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
4 月	18 第16回正副理事長会議	04 日中友好日本高校生団帰国	24 関西平和友好会総会
	22 監査 ①評議員会 ②理事会	28 (社)日中友好協会：理事会	
	23 岸和田市日中総会		
	28 枚方市日中総会		
5 月	05 正副理事長会議	19 同済大学日本語学生訪日団来阪（～26）	12 関西国際交流団体理事会 21 京都府日中友好協会総会 22 小さな善意の会
	17 地区交流会議（大阪三島設立総会場） 大阪三島友好協会設立総会 （谷井会長講演）	30 陳式太極拳コーチ来局	
	09 ③理事会		
	11 役員選出委員会		
	14 第11回通常総会・レセプション（リーガロイヤルNCB）		
	21 豊中市日中総会		
	27 池田市日中総会		
	29 阪南市日中総会		
30 第1回理事会 新華社来局、会長取材			

任理事会と理事会の合同会合を提案し承認された。

Ⅲ. 事務所の移転

9年余入居した pia NPO は、耐震構造が不十分ということで立ち退きを要請された。移転先は、ボーイスカウト大阪連盟のご厚意で、「大阪スカウト会館 2F」になった。移転作業は大変だったが、役員、会員のご協力で10月10日に移転を完了し、10月21日、中国総領事館はじめ各界80名の参加を得て披露を行った。

Ⅳ. 東日本大震災への義援金

協会としては、全会員に義援金の要請を行った。地区協会では、枚方市日中友好協会が街頭募金をし、岸和田市日中友好協会は25周年記念音楽祭の会場で募金するなどして、募金活動をおこなった。その義援金は、(社)日中友好協会に預け、現地に届けられた。

Ⅴ. 組織の強化と会員交流・親睦事業

1) 大阪府三島日中友好協会設立

3月11日の東日本大震災の影響で発足が遅延したが、新しい協会として、14番目の茨木・摂津両市にわたる大阪府三島日中友好協会が5月7日に設

立した。当日は、地区協会の会長会議を開催しそのあと総会に参加し、また谷井会長自らが記念講演を引き受け、府協会全体で新しい地区協会の発足を祝った。

2) 地区協会との連携強化

府協会と地区協会、地区協会相互の協力関係および連絡・交流を密にして、組織強化と活動のさらなる活性化をめざす努力として、地区協会会長会議を5月7日、10月21日の2回開催した。

地区協会では、高齢化や会員減少など多くの問題を抱えており、府協会への要望も多い。これに対し、岸和田市日中友好協会に谷井会長が出かけ、幹部と親しく懇談するなど対応を進めている。

各地区協会の主な活動は、最後に一覧で紹介する。

3) 会員の親睦会として、日中友好親善ゴルフ大会は、阪南市日中友好協会のお世話で、10月4日、大阪ゴルフ倶楽部で26名が参加した。

会員の集い、健康麻雀大会などは継続実施ができなかった。

4) 「大阪と中国」は1月、4月、8月の3回の発行を行った。

ホームページの充実など協会内外へのPR活動は不十分に終わった。

活動日誌

2011年4月～2012年3月

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
6 月	10 吹田市日中総会	16 上海市対友協・協議団来阪(～18) 協議・歓迎会	03 日中経済貿易センター総会
	11 高槻市日中総会		04 奈良県日中総会(祝電)
	13 第1回正副理事長会議	20 全国本部：理事会・総会・中日友協団歓迎会	14 大阪日中協会総会
	17 堺日中総会		
	21 八尾市日中総会	24 関西ブロック：日中友好寺社巡り(比叡山)	
	22 藤井寺市日中総会		
	23 ①発展改革委員会発足	24 青島大阪国際麻雀联谊会訪日団(～29)	
26 河内長野市日中総会			
7 月	10 熊取町日中総会	04 中国青年代表団(35名、観光関係)、府国際交流課と交流	09 池田市日中：前田佐保子さんを偲ぶ会
	21 ②正副理事長会議・発展改革委員会開催	09 第1回ビジネス交流会(在職中国人交流協会、当協会後援)	16 中国人留学生：辛亥革命の集い(吹田)
		12 谷井会長が日中経済貿易センター名誉会長として訪中(北京、上海～15)	18 山本玉嶺顧問告別式
		17 総領事館：中国知識検定の決勝(立命館)	
		23 辛亥革命100周年記念レセプション(中国総領事主催、兵庫県公館)	
		28 緑化検収訪中団(～8.1)	

VI. 青年部、女性委員会の活性化

1) 青年部

8月の餃子パーティー、2月のワン・ワールド・フェスティバルに参加し、餃子の販売、協会の宣伝を行った。

2) 女性委員会

京都での関西ブロック交流会議に参加した。

VII. 上海市人民対外友好協会との《会談要録》事業の推進

大阪と上海のサッカー交流は、原発事故の影響で、訪日が中止となり、実施できなかった。ほかの交流も進まなかった。

VIII. 交流（訪中団、訪日団）

1) 山東省女性（企業家）訪日団夕食懇談会

当協会が主催して山東省女性（企業家）訪日団（張偉齡団長一行20名）、9月22日に錦城閣で歓迎会を行った。谷井会長はじめ女性委員会のメンバーら20名が参加して行われた。この団は、大阪府、市、日中経済貿易センター等を表敬訪問した。日中経済貿易センターでは、女性経営者との懇談交流会を行った。

2) 中国青年訪日団（〈社〉日中友好協会に協力）

当協会、日中経済貿易センターが共催して、8月28日太閤園、青年企業家交流会を実施した。当

日は、中国側40名に日本側24名が参加して、青木俊一郎氏（協会副会長、日中センター理事長）の記念講演の後、交流会を開いた。

3) 中国高校生ホームステイ（〈社〉日中友好協会に協力）

中国高校生19名の10月22日～23日のホームステイを池田市ホームステイの会の協力で実施した。

4) 上海貿易学院大学訪日団（6名）

池田市日中友好協会に協力して、上海貿易学院大学訪日団を12月4日～10日に招聘した。

IX. 恒例の主催事業

1) 中国語講座（初心、初級、中級）

4月～7月に実施 計14名

2) 第29回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会

10月29日、pia NPO で出場18名、来場20名で開催した。上級の部の一位の田中結衣さん（神戸市立外国語大学）は1月の全国大会でも一位を獲得した。

X. 緑化事業の推進

中国の緑化事業は、当協会が日中緑化交流基金の助成事業をはじめ11年目になる。

1) 第1期広東省潮州市饒平県紅樹（マングローブ）植樹（1年目）

2) 第1期河北省張家口市涿鹿県植樹（3年目）

検収団の派遣 7月28日～8月1日、米田道孝緑

活動日誌

2011年4月～2012年3月

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
8月	06 緑化申請 文化交流の夕べ打合せ 08 ②常任理事会 ③理事会 12 「大阪と中国」 発送 16 中之島公会堂下見、打合せ	10 本部の高野倉事務局長来阪 13 関西ブロック：和歌山県日中で打合せ 28 中国青年代表団（企業家）来阪（～30）、交流会 29 同団：東大阪中小企業支援センター・松下記念館—阿倍野防災センター	
9月	02 ③正副理事長会議・発展改革委員会開催 16 日中文化交流の夕べ（中国総領事館と共催、中之島公会堂）	09 緑化：東京へ 21 山東省女性企業家代表団来阪（～24） 22 同団：大阪府・大阪市表敬、日中経済貿易センター懇談会、歓迎夕食会 26 中国総領事館：国慶節（太閤園） 29 大阪華僑総会：国慶節（錦城閣）	17～18 中秋明月祭大阪2011（難波宮跡） 29 大阪スカウト会館披露パーティ（天王寺都ホテル）

化委員長と石田和孝緑化委員を2カ所に派遣した。

3) 第1期広東省潮州市饒平県紅樹(マングローブ)植樹(2年目)

4) 第2期河北省張家口市涿鹿県植樹(1年目)
今年度は植樹訪中団が派遣できなかった。

XI. (公社)日中友好協会関係事業

1) (公社)日中友好協会に協力

①加藤紘一会長一行訪中団に参加

10月26日～29日、加藤紘一会長一行に、谷井会長、林理事長、大藪事務局長3名が参加し、中日友好協会の宋健会長、唐家璇名誉顧問と親しく懇談した。

②中国青年訪日団、高校生訪日団の大阪での活動などに協力した。(交流の項参照)

2) 関西ブロック協議会

- ①寺社巡り(比叡山)……滋賀県日中担当 24名
6月24日
- ②交流会議……和歌山県日中担当 11月19日
紀三井寺の「ガーデンホテルはやし」
大阪より5名参加
- ③女性交流会議……京都府日中担当 10月28日
京都・宇治黄檗山萬福寺、大阪より7名参加。

XII. 中国総領事館、華僑・華人及び中国人留学生との協力・連帯

華僑総会との連携、中秋明月祭への協力、春節の交流など。

1) 中国駐大阪総領事の交代

日中経済貿易センターと共催で、総領事交替に関して次の事業を行った。

①鄭祥林総領事歡送会

10月24日、リーガロイヤルホテルで、当協会と日中経済貿易センターの役員40名で、労をねぎらい感謝する宴を開催した。

②日中新春互礼会～劉毅仁総領事歡迎

当協会、日中経済貿易センター共催の新春恒例の「日中新春互礼会」に併せ、新総領事の歓迎会を開催した。会場のリーガロイヤルホテルに府市、経済、協会員など350名が集い、10年ぶりに大阪に着任の劉毅仁総領事を「お帰りなさい」と歓迎した。

2) 第3回中秋明月祭への協力

地区協会へ、参加の要請と祝賀広告をお願いした。

3) 中国総領事館の第3回中国知識検定

決勝：7月21日 京都・立命館大学

XIII. 後援について

日中互恵信頼構築国際シンポジウム

「アジアから音楽文化発信を考える」

9月30日(金) 大阪国際交流センター
主催：同実行委員会(永田兼一委員長)

*当協会は後援名義と谷井会長の基調講演で協力など。

活動日誌

2011年4月～2012年3月

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
10月	02 日中友好親善ゴルフ大会(阪南)	24 鄭祥林総領事歡送会(当協会・日中経済貿易センター共催)	06 日中協会講演会：藪中氏
	09～10 事務所移転 移転日10日	26 (社)日中友好協会訪中団(～29、谷井会長、林理事長、大藪事務局長)	10 辛亥革命100周年記念日
	17 八尾市嘉定区締結25周年・八尾市日中設立30周年記念式典		19 上西登美子参与の葬儀
	21 地区協会会長会議(午前) 事務所披露パーティー(午後)		22 山畑雅裕顧問葬儀
29 中国語スピーチコンテスト(pia NPO)			
11月	06 松原市日中総会・映画会	07 新疆歌舞団公演(十三クレオ)	06 天翔楽団公演
	12 岸和田市日中：25周年記念コンサート	12 鄭祥林総領事帰国・歡送	20 堺太極拳団体協議会20周年記念祝賀会
	28 第4回正副理事長会・発展改革委員会	13 第2回日中ビジネス交流会(在職中国人交流協会、当協会後援)	21 蒼文篆会展(～23)
		16 (社)日中友好協会理事会	27 府知事・大阪市長選の投票日
		19 関西ブロック交流会(和歌山・紀三井寺)	

XIV. 各地区協会の主な活動

1) 池田市日中友好協会

- ①上海同济大学日本語学部14名来池研修
5月19日～26日
- ②王川著・福井耕一訳「白髪の狂夫」発刊 8月末
- ③中国ゆかりの史跡探訪バスツアー 10月6日
近江八幡方面 16名
- ④池田市・蘇州市友好都市提携30周年記念式典と
訪中旅行 協会から14名参加 11月5日～12日
- ⑤蘇州昆劇院池田公演 11月19日
約1000名収容のホール満席
- ⑥上海貿易学院大学日本語学部5名来池研修
12月1日～7日
- ⑦第33回寒山寺聴鐘迎春訪中団
6名 12月29日～1月4日
- ⑧新年の集い（春節祭） 1月28日
小南池田新市長、劉総領事を迎え計101名

2) 枚方市日中友好協会

- ①東日本大震災義援金街頭募金活動 4月15日
17名 75,589円を府日中を通じて全国本部へ
- ②定期総会(29名)と親睦ゴルフコンペ 4月28日
- ③小さな善意による日中友好の集い 5月22日
会員有志が参加
- ④ひらかた多文化フェスティバルと中国帰国者交
流有志会合 8月4日
- ⑤同フェスティバル参加予定の秧歌(ヤンガ)踊り

練習 10月10日 11月12日
(11月19日のフェスティバルは雨天中止)

- ⑥新年会(32名)と親睦ゴルフコンペ 1月27日
- ⑦中国の家庭料理を楽しむ会 2月19日
当協会協賛 60数名
- ⑧中国の留学生送別会 3月7日

3) 八尾市日中友好協会

- ①焼印会(三役会議) 8名 6月3日
- ②定時総会(21名)と懇親会(31名) 6月21日
- ③理事会 10名 8月8日
- ④八尾市・上海嘉定区友好都市提携25周年および
八尾市日中設立30周年記念式典・祝賀会
94名 10月17日
記念誌「友好のあゆみ30年」発刊 250部
- ⑤友好都市締結25周年記念嘉定区訪日団(6名)
交流見学会(唐招提寺など) 16名 10月19日
同団歓迎夕食会 28名
- ⑥上海嘉定区青少年訪日団(13名)歓迎夕食会
39名 11月14日
- ⑦新年懇談会 28名

4) 高槻市日中友好協会

- ①青年部主催「ボウリング大会」を初開催
6月4日
- ②「高槻まつり」に青年部が出店 8月6日～7日
PRと商品販売(3回目にして売上増達成)
- ③「第13回日中友好ピアパーティー」 9月11日
日本人48名中国人28名参加で盛況

活動日誌

2011年4月～2012年3月

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
12月	06 忘年会(神仙閣)	08 中国総領事館：劉毅仁新総領事着任	03 中国人強制連行受難者追悼会(天保山)
	08 豊中市日中忘年会	21 中国総領事館：劉毅仁新総領事着任披露	08 府議会日中親善議員連盟総会懇親会
		29 池田市日中：迎春訪中団(～1/4)	16 中国国家観光局忘年会
2012年1月	12 日中新春互礼会(リーガロイヤルホテル)	06 上海市人民対外友好協会代表団来阪(～8)	04 大阪鍼灸師会新年会
	21 高槻市日中新年会	07 同団の歓迎会	14 京都府日中新年会
	22 阪南市日中春節お祝い会	13 中秋明月の打合(華僑、領事館、大阪日中)	23 春節
	24 八尾市日中新年会	18 (社)日中友好協会総会・新年会(東京)	28 滋賀県日中新年会
	26 正副理事長会 第2回常任委員会 第3回理事会		
	26 堺日中新年会		
	28 池田市日中新年会 31 女性委員会		

- ④「第3回高槻中国語スピーチコンテスト」
高槻市都市交流協会と共催 10月1日
発表者16名来場者57名 入賞者は府協会のコン
テストに出場
- ⑤「第1回中国料理教室」 17名 11月27日
- ⑥新年賀詞交歓会 40名
- ⑦「第2回卓球交流会」 2月18日
出場6名 参加者の発掘と増加が課題

5) 堺日中友好協会

- ①中国文化講座・はじめての中国語
10回コース 受講18名 4月7日～6月6日
- ②定期総会 41名 6月17日
- ③中国文化講座・中国語日常会話編
10回コース 受講27名 7月7日～9月8日
- ④ 同・中国語基礎編
10回コース 受講13名 9月27日～11月29日
- ⑤ 同・太極拳入門編
5回コース 受講3名 10月12日～11月9日
- ⑥国際交流サロン(国際交流を志す民間団体と外
国人の交流会) 11月5日
- ⑦中国文化講座・中国語応用編
10回コース 受講23名 1月10日～3月13日
- ⑧会員の集い～春節を祝って 1月26日

6) 岸和田市日中友好協会

- ①定期総会と懇親会 22名 4月25日
- ②岸和田市民フェスティバルできつねうどん販売
と会報の展示 15名 5月3日
- ③みかん狩り 11月3日
中国総領事館27名 当協会18名

- ④設立25周年記念「ヤン・チェン「心の絆」コンサ
ート」 一般無料公演 来場520名 11月12日
- ⑤泉州国際市民マラソン岸和田市招待選手歓迎会
(岸和田市国際親善協会・同日韓親善協会と共
催) 2月17日
中国・韓国選手・随行員6名 全参加者70名
- ⑥春節祭 2月20日
泉州マラソン招待中国選手・随行員とホスト
ファミリー9名 当協会23名

7) 河内長野市日中友好協会

- ①定期総会 6月26日
- ②高野街道祭りで手づくり豚饅「奥河内ぶたまん」
を販売 10月23日
- ③市の産業祭「楽市・きらく市」で「奥河内ぶたま
ん」を販売 11月20日
- ④日中友好バスツアー 19名 12月11日
辛亥革命100周年に因んで孫文記念館等を訪問

8) 阪南市日中友好協会

- ①定期総会 30名 5月29日
- ②鑑賞会「天竺へ～三蔵法師3万キロの旅」
奈良国立博 11名 7月27日
- ③創立20周年記念誌「二十年の歩み」発刊
48ページ 200部 8月5日
- ④ハイキング「根来街道～熊野街道」など3回実
施 11名 6月18日・9月24日・3月4日
- ⑤大阪府日中親善ゴルフの幹事 26名 10月4日
- ⑥第15回中国旅行「中国文明発祥の地・王朝街道
の旅」鄭州・洛陽・西安・延安
11名 10月12日～17日

活 動 日 誌

2011年4月～2012年3月

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
2 月	19 大阪三島日中：餃子会	16 関西ブロック協議会会議と懇 親会(大阪) 22 総領事館映画会開始(月2回 を予定)	03 日中協会の浅沼清太郎氏告別 式
	20 岸和田市日中：春節		04 ワンワールドフェスティバル (～5)
	21 女性委員会：池田不死王閣下見		17 第51回大阪国際招待卓球選手 権大会(～19)
	22 ①運営委員会		
	24 府、市と上海海事大学訪日で打合せ		
3 月	01 豊中市日中：事務所オープニング	08 総領事館：3・8婦人デー	06 日中語学専門学院卒業式
	08 ④本部委員会	15 張欣副総領事が離任 王淑媛副総領事着任	
	11 松原市日中：40周年記念茶会	14 山東省海外联谊会代表団夕食 懇談	
	15 中秋明月実行委員会	21 (社)日中友好協会：理事会	
	16 藤井寺市日中：交歓会	29 上海太極拳講師友好交流団歓 迎会	
	21 ②運営委員会		
22 上海太極拳講師友好交流団が表敬			

- ⑦忘年会 25名 12月25日
- ⑧春節お祝い会 44名 1月22日
- 9) 熊取町日中友好協会 8月25日～28日
- ①花見旅行 唐招提寺と平城京跡 4月3日
- ②中国旅行(鑑真と内山完造関連施設訪問)
鎮江・揚州・張家港・上海 5月14日～17日
- ③第16回総会と講演会「中国仏教の現状」
7月10日
- ④講演会「日中関係から読む万葉集」 9月10日
- ⑤一泊旅行(大津) 10月29日～30日
大津宮跡・三井寺・近江神宮など
- ⑥町民文化祭に展示参加 11月5日～6日
- ⑦春節餃子パーティ 1月15日
- ⑧講演会「現代に生きる漢詩」 2月11日
- ⑨講演会「倉石武四郎—日本の中国語教育を創った人」 3月10日
- 10) 松原市日中友好協会
- ①野外活動 第2回歴史探訪シリーズ 6月19日
近隣(藤井寺市)の散策と交流
- ②第37回松原市民まつり 8月6日～7日
テントブースで活動紹介・広報
- ③第10回中国映画鑑賞会
「求求你 表揚我」と紙芝居 40名 11月6日
- ④中国茶で楽しむ交歓会 25名 3月11日
- 11) 豊中市日中友好協会
- ①第14回定期総会 30名 5月21日
- ②第3回会長杯ゴルフコンペ 12名 6月9日
- ③上海魯迅記念館の館員5名が来訪 9月15日
同記念館王館長が来訪 11月11日
三義塚訪問と交流
- ④魯迅生誕130周年記念式典(上海魯迅記念館主催)に参加 4名 9月23日～24日
上海市対外友好協会と最新医療検診ツアーの打合せ
- ⑤阪大中国人留学生との交流会 10月9日
(田中会長宅)留学生27名と協会関係者37名
- ⑥南昌で開催の「江西省第2回国際交流都市交流会」に参加 5名 11月21日～26日
上饒市訪問、外事弁公室と協議
- ⑦事務所移転 3月3日
- 12) 吹田市日中友好協会
- ①第12回定期総会 6月4日
- ②「吹田日中だより」を創刊(季刊) 7月1日
- ③劉占山中国総領事館教育室長送別会 8月12日
- ④高校生が主催して上海の高校生を招請、ホームステイを通じて交流をはかる事業を支援
8月25日～28日
- ⑤「尾高栄次名誉会長の米寿を祝う会」 9月21日
- ⑥西日本中国人留学生との交流会
8大学から留学生108名参加 10月1日～2日
- ⑦北京・ウルムチ・敦煌を訪ねる旅
10月21日～27日
- ⑧忘年会 12月5日
- 13) 藤井寺市日中友好協会
- ①役員会 5月24日
- ②第5回通常総会 6月22日
- ③藤井寺市民まつりに太極拳で参加
約120名 9月18日
- ④役員会 9月1日・1月16日
- ⑤会員交流会 16名 3月16日
- 14) 大阪三島日中友好協会
- ①結成総会(第1回総会) 5月7日
来賓、会員計約100名
茨木市民会館ドリームホール
- ②役員会 5月～3月に12回開催
- ③「中秋名月祭」に詩吟と舞踊出演
16名 9月18日
- ④「中国家庭料理餃子を作り食する会」
第1回 14名 10月28日
第2回 22名 2月19日
- ⑤「中国茶を楽しむ会」 10名 1月30日



2012年度事業計画(案)

「活動する大阪府日中」をスローガンに

日中国交正常化40周年を機に、日中の国民感情を好転させるために、民の立場から日中の相互理解を深め、両国の互惠発展に貢献するさまざまな交流を展開する。
そのために「大阪府日中発展改革委員会」を立ち上げて、会員を拡大し、活動を活発にし、会員のみならずにも喜んで活動に参加していただける協会にする。

大阪府日中友好協会の重点活動

(I) 40周年記念行事

- 1) 唐家璇 新会長ご一行の歓迎、交流
唐家璇先生を団長とする中日友好協会代表团
大阪滞在 4/22~24
- 2) 「第13回 日中友好交流会議」
貴州省の貴陽市 5/24~25
テーマ 「地方対地方の交流促進」
- 3) 日中友好交流都市 中学生卓球交歓大会
北京 オリピックセンター体育館 8/17~19
- 4) 大阪府日中 国交正常化40周年記念行事
大阪市国際交流センター 9/13(木)
- 5) 中秋明月祭 大阪2012
本年は大阪府日中友好協会も主催者として参画し「新たな友好へ」をテーマに盛り上げていく。
史跡 難波宮跡 9/15~16
- 6) 上海海事大学 訪日交流
100人×10回 4月~6月

(II) その他の活動

- 1) 緑化事業の推進
広東省潮州市、河北省張河口市
- 2) スピーチコンテスト大阪府大会
- 3) 青年部
ビアパーティー、ワン・ワールド・フェスティバル
- 4) 女性委員会
新疆訪問(8月)、関西ブロック女性交流会(10月)
- 5) 中国語講座(休止中)の再開
- 6) 総領事館の催事
○映画会 20~30名 一般応募、H/P
○中国サロン 講師 各界の方

(III) 上海市人民対外友好協会との事業推進 《会談要録》 別紙の通り

大阪府日中友好協会の運営強化

1) 運営委員会の設置と構成

- ①理事長・副理事長会議を運営委員会と呼ぶ。
- ②運営委員会は会長、理事長、副理事長を常任メンバーとする。

2) 本部委員の機能強化

- ①奉仕の心と行動力のある会員を組織して本部委員とする。
- ②本部委員は筆頭副理事長に属し、諸活動の推進力となる。

3) 委員会の構成と運営見直し

- 財務、総務、事業、広報、緑化、青年、女性の各委員会を実行力のある組織運営を目指す。
また新規に法人部会を設置する。

4) 地区協会との連携強化

- 府日中との連携強化と共に、府下を幾つかのブロックに分けて横連携の強化も図る。

5) 事務局の機能強化

6) 会員の増強と資金体制

- ①個人会員と共に、特に法人会員の強化
- ②財務計画の充実と実施のフォロー
- ③法人部会は、法人企業の役立つ情報の提供や総領事館、中国側との友好的な会合を行う。

(公社)日中友好協会関係・ 関西ブロックの活動

1) (公社)日中友好協会関係 その他活動

- 「恐竜王国 2012」 幕張 7/21~9/23
- 「漢字の由来展」(仮称)
- 「日中韓太極拳交流大会」 上海 7月

2) 関西ブロック協議会

- 交流会議、寺社巡り

大阪府日本中国友好協会 ❀ 上海市人民对外友好協会 2012年度 会談要録

大阪府日本中国友好協会は上海市人民对外友好協会と長期にわたり日中友好事業の発展に力を注ぎ、豊富多彩な交流活動を展開した。両協会は、それぞれの交流で大きな成果を収め、同時に、双方の理解と友好を深めた。

今年は日中国交正常化40周年である。双方はこれまでの交流の成果を基礎に、より実質的な内容の友好交流活動を展開し、併せて大阪と上海の友好発展のために緊密に協力し合い、引き続き新たな貢献をすることを確認した。

双方は、2012年の交流項目について友好的な協議を行い、以下のとおり合意に達した。

一、各界交流

(A) 訪中団

1. 日中青少年交流活動（訪中団）
2. 大阪府日本中国友好協会代表団（数団）
3. 大阪各界友好訪中団（数団）
4. 大阪府下の日本中国友好協会訪中団（数団）

(B) 訪日団

1. 上海市人民对外友好協会代表団
2. 中日青少年交流活動（訪日団）
3. 上海各界友好交流団（数団）

二、文化、教育交流

(A) 訪中団

1. 大阪文化交流団（数団）
2. 大阪教育考察団（数団）

(B) 訪日団

1. 上海区教育考察団
2. 上海青少年サッカー交流団

三、体育交流

武術・太極拳等の交流の推進

四、経済技術交流

- (A) 訪中団 経済交流考察団（数団）
(B) 訪日団 経済交流訪日団（数団）

尚、本会談後の調印後、交流項目の追加、変更については、双方が別途協議するものとする。

大阪府日本中国友好協会 代表 林 昭嘉
上海市人民对外友好協会 代表 汪 小 澍

2012年2月7日

「中秋明月祭 大阪2012」

当協会も実行委員会に参画



今年は第4回目となる「中秋明月祭」が9月15日、16日の2日間にわたって史跡難波宮跡で開催されます。日中国交正常化40周年を記念として「新たな友好へ」をテーマとします。

本年は主催団体として、初めてNPO大阪府日中友好協会、一般社団法人日中経済貿易センターも名を連ねて参画をし、新たな人と人との出会い、ふれ合い、心の絆が生まれてくることを願っています。

本年も中国からも一流の芸術団が複数来られる予定です。私達もこの「中秋明月祭」に積極的に参画し、多くの会員、ご家族、ご友人の方々のご来場を通じて、未来志向の新たな友好へと繋げていきたいと思っております。

(事務局長・藤井秀幸)





レセプション会場〈山楽の間〉 訪日団ご一行がステージに



谷井会長(大阪府日中友好協会)、村山会長(日中経済貿易センター)と唐家璇会長

唐家璇・中日友好協会会長を 200余名が歓迎

唐家璇・中日友好協会会長ご一行は、4月22日、関西国際空港に到着。当協会の谷井昭雄会長、林昭嘉副会長・理事長、小田眞弘副理事長が、劉毅仁総領事と共にゲートまで出迎え。

4月23日午前、パナソニックセンターを訪問。中村会長、大坪社長らの出迎えを受け、環境、エコ、省エネの展示場を見学した。

17時30分からリーガロイヤルホテルで会見。

このたびの唐家璇会長一行の歓迎会は、当協会と日中経済貿易センターが主催し、共催が関西経済連合会、大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所、関西経済同友会、日中経済協会の6団体で開催された。

会見には、主催、共催団体の代表、関西ブロック協議会6府県代表、京阪神の華僑代表、それに、当協会の地区協会代表が参加した。谷井会長が唐家璇会長一行の関西訪問歓迎の口火を切り、松下正幸・関西経済連合会副会長があいさつの中で、7月の訪中への協力を要請した。参加者、団員の紹介をし、唐家璇会長があいさつ。

引き続き、歓迎レセプション。

来場者200名の拍手で、団一行が壇上に上がり、司会の堀田雄一副理事長が紹介した。主催者を代表

して谷井会長が、心のこもった歓迎のあいさつ。経済界を代表して、大阪商工会議所の中国ビジネス委員会・桑山信雄委員長が「経済面では、日中企業が協力し、互いに優れた要素を持ち寄って取り組む案件が増えている」とあいさつ。唐家璇会長は、日中国交正常化にいたる諸先輩の苦勞を偲び、その後の日中関係の発展にふれ、これからの日中双方の協力課題について、具体的な話をされた。中日関係の交流は質を求める時期に来ている。環境分野の交流では日本の技術力が求められる。中国の力点は内陸に移っているなど。

特に今回はまず大阪を訪問したのは、関西の中国との歴史的な関係、経済交流で関西が30%を占めている等の理由を述べられた。

日中経済貿易センターの村山敦会長が乾杯の発声をし、歓談。参加者は唐家璇会長を囲み、写真を撮ったり、色紙を書いてもらったり、和やかな交流、歓談を繰り広げた。



レセプション会場にて 劉総領事、藤尾副会長と

上海からの太極拳老師が 協会を表敬



南大阪太極拳連盟（会長：宮地正、理事長：木田正宣）は、上海から太極拳の老師を3月22日から4月23日まで招待して、1か月にわたる講習会を実施しました。2年前と同じ蘇黎猷、曾美英老師と通訳の周金美さん。来日早々の22日には当協会、谷井昭雄会長、曾我部篤爾大阪武術太極拳連盟会長（堺日中会長）を表敬しました。

また3月29日には、スターゲートホテルで、千代松泉佐野市長、藤原貝長の出席を得て盛大な歓迎会が開催されました。

上海海事大学から 学生120名が神戸に

4月2日、鑑真号で来日、友好校である神戸大学深江キャンパスで歓迎会が開かれました。中国総領事館のコンドス・ユスフ副総領事、神戸市みなと総局の岡本憲義総局長らが歓迎挨拶。日中双方の学生が歌、武術などを披露して交流しました。当協会からは、小田、大藪両副理事長が出席しました。今回を第1次として1000名が来日、交流することになっ



神戸大学での歓迎会

大藪二郎事務局長が退任 後任に藤井秀幸さん

4月1日付けで、当協会の事務局長が大藪二郎前事務局長から藤井秀幸新事務局長に交代しました。

藤井さんは59歳。大阪外国語大学（現・大阪大学）中国語学科を卒業して松下電器産業（現・パナソニック）に入社、英国、ドイツ、スウェーデンなど外国勤務が長い国際派です。

1978年以来33年に亘って事務局長をつとめた大藪さんは、日中両国でのきわめて幅広い人脈と豊富な経験を生かして、当協会副理事長、（公社）日中友好協会理事として今後も活躍されます。

ています。

上海道教訪日団が初来日 大阪、宇治などで交流活動

4月7日に、楽団を伴った上海道教訪日団一行30名が来日、当協会が受け入れと活動計画に当たりました。中国三大宗教の一つとされ、日本の宗教、文化に大きな影響をおよぼした道教ですが何しろ初めてのこと、どんなスケジュールを組むか苦心しましたが、日本道観と交流、宇治の黄檗山萬福寺の花祭りでは楽器演奏を披露。京都府・宇治市日中の参加もいただきました。

さらに浪速高等学校では、大阪府で唯一の雅楽部の生徒による雅楽演奏と道教楽団の演奏、武道館でのクラブ活動見学などを行い、また茶道部生徒のお茶の接待を受けるなど充実した交流ができました。一行はその後、薬師寺、東大寺も訪れました。

この交流では、当協会会員の花谷幸比古・鶴見神



萬福寺で 道教楽団の演奏

社宮司、安田順恵理事（薬師寺）、長谷川由美子理事の多大のご協力をいただき、中国総領事館からも駆けつけていただきました。

国交正常化40周年記念

第4回中国知識検定

中高生と大人の部に分けて

過去3回実施、当協会会員の方々も多数応募して優秀な成績を収めた中国知識検定が今年も行われます。

ただ、形式、内容がこれまでとかなり変わりました。中学・高校生の部と大人の部に分かれたこと、決勝は口頭試問で行われることなどです。これまで参加していなかった方もぜひチャレンジを！

*参加資格

中高生の部：日本の中学校または高校に在籍し、中国語圏内に2年以上滞在したことがないこと。
大人の部：18歳以上。過去の大賞受賞者は原則としてお断り。

*実施方法

中高生の部：決勝当日の口頭試問のみ。中国語で行う。
大人の部：予選はインターネットでの筆記試験。決勝は日本語での口頭試問。

*日時・会場

5月15日～6月15日
・中高生の部エントリー
・大人の部予選
7月1日（日）
決勝
神戸大学六甲ホール

*お問い合わせ

中国駐大阪総領事館政治文化室
TEL：06-6445-9425 FAX：06-6445-9476

総領事館で

中国映画を見よう

1月から中国総領事館で実施されている中国映画上映会の、5月以降のプログラムは以下の通りです。

5月10日（木）「私の家はどこ」
5月23日（水）「雲水謡」
6月5日（火）「絶世」
6月20日（水）「命を懸けた800キロ」

会場：中国総領事館 1階上映室

時間：14：00開場

ドキュメンタリー映画と劇映画

予約：毎回20名。観覧希望者は、総領事館のホームページからお申し込み下さい。http://osaka.china-gonsulate.org

予約締め切りは、上映1週間前の17：00。

入館：身分証明書と領事館から送られる確認書を必携。

新疆ウイグル自治区訪問を 計画中 —女性委員会だより—

2012年1月、女性委員会新年顔合わせと、日中国交正常化40周年という記念すべき年の行事計画を、協会事務所で話し合いました。

①関西ブロック女性交流会議の開催

②訪中団を組み、両国の友好を推進する。

の2点が大きな事業目標になりました。

2月には、①の件につき、久安寺と不死王閣の下見を兼ね参詣と冬の温泉で温まりました。4月には、NHK TV朝ドラマで今や全国区の有名都市となった岸和田を訪れ、満開の桜のもと、お城やだんじり会館、コシノ洋裁店等を見学し、ご当地グルメを賞味しました。

②の件については、訪問先は新疆ウイグル自治区、時期は8月下旬に内定しました。幸いなことにコンドス・ユスフ副総領事の御好意により、対外友好協会や婦女聯などが受け入れ準備を進めてくださることになりました。その上関西大教授の戸毛副会長に団長をお願いしております。こんなチャンスはまたとないと思います。夏休みに、女も男も、世界で最も内陸に位置するシルクロードの都市と名所旧跡を訪れる旅に参加しましょう。（委員長・川上 和）



岸和田城にて

劉総領事も参加、快晴に恵まれた 第13回日中親善ゴルフ大会

4月17日、堺日中の石田哲男副会長のお世話により天野山カントリークラブで開催しました。劉毅仁総領事、谷井昭雄会長、林昭嘉理事長はじめ参加32名。好天のもと和やかにプレー、優勝は堺日中から参加の吉田一之さんでした。

次回は豊中市日中のお世話で開催の予定です。



会 員 消 息

木下裕章顧問が 「麻雀屋から麻雀倶楽部へ」を出版



当協会顧問で大阪麻雀連合会理事長の木下裕章さんが、ご自身の歩みをつづった上記の著書を出版されました。

大学卒業後サラリーマンを経て家業の麻雀店を継ぎ、持ち前のアイデアと行動力で高級マージャン店を次々と展開して成功、さらに麻雀業界の近代化とイメージアップに力を尽した道のりは、麻雀に興味の無い人にとっても興味がつきません。

また、麻雀を通じての国際交流にも力を注ぎ、世界麻雀選手権大会開催を実現、現地との日中麻雀交流を実施されています。

発行：日本アミューズメントサービス 定価1500円 お問合せは大阪麻雀連合会 TEL06・6231・6815

江蘇国際文化交流センター総会に

藤尾、野々村さんが参加

同センターの第3回理事会・第3回総会が4月7日南京市で開かれ、ともに理事をつとめる藤尾昭当



総会風景

協会副会長と参与の野々村晃さんが出席しました。

当協会と同セン

ターとは、これまでも藤尾、野々村さんの尽力で大阪での美術展や児童画展を共催した実績があります。

総会では、中国の政治的経済的な発展のもとでのグローバルな文化交流、とくに青少年における交流の重要性について討議されました。

久保「松井石根大将」が南京の記念館へ

少し古い話題ですが、昨年10月、理事の久保恵三郎さんが南京を訪れて「大虐殺記念館」で南京事件の犠牲者に花輪を捧げ、これが現地の新聞で報じられました。見出しは「八旬老人昨江東門記念館謝罪」。

記事の中で朱成山同記念館長が語っているように、久保さんは1995年に中国台湾合作映画「南京1937」に、当時の中支那軍司令官・松井石根大将役で出演しました。その後何度も南京訪問、朱館長の著書にも紹介されています。久保さんは「事件の最大の責任者・松井大将に成り代わって謝罪の意を表しました」。

山中幸子さんが

中国の雑誌で紹介されました

中国の「国際人材交流」誌本年3月号に「良師益友」のタイトルで、当協会会員の山中幸子さんが紹介されています。山中さんの父は山中林之助当協会元副会長（故人）。

筆者の斬学軍さんは、1995年から1996年に日本語教師をつとめた山西農業大学教師で、同時に山中さんの日本語の教え子。出会いから始まり、「2人だけの日本語勉強会」や、山中さんの著書の中国語訳を手伝ったこと、2003年に山西農大に「山中奨学金」を設けたこと、同じ年に筆者が大阪外大に留学したときに受けた親切など日中友好に尽した姿が、中国人の目で詳しく綴られています。

熊取町日中

太極拳用語を 中国語で！

今年も学びと交流活動を中心に計画。以下が12月までの予定です。

- ① 花見 4月8日(日)
桜井市埋蔵文化財センター、山辺の道、巻向遺跡などへ。
- ② 日中サロン 5月12日(土) 講演会
講師：山本義輝氏(阪南市日中役員)
日本と中国友好の原点は欽と鎌
—私の体験をもとに—
- ③ 第Ⅱ期後期中国語講座開講
5月19日(土)から20回
- ④ 日中サロン 6月9日(土) 講演会
講師：林 昭嘉氏
(堺日中名誉会長、大阪府日中理事長)
中国の経済情勢について
- ⑤ 第17回総会 7月8日(日) 記念講演
講師：林 雅清 本会事務局次長
元曲 ～中国古代の文学から芝居へ～
- ⑥ 日中サロン 9月8日(土) 講演会
講師：林 敦子 本会会員
紅樓夢
- ⑦ 一泊旅行 9月29日(土)～30日(日)
飛鳥方面へ
- ⑧ 日中サロン 10月13日(土) 講演会
講師：武内孝之本会会長
日中関係からよむ万葉集(2)
中国文化と中国文学の影響
- ⑨ 町民文化祭 11月3日(土)～4日(日)
- ⑩ 忘年会 12月9日(日)
於：がんこ岸和田五風荘
2011年の活動は、1月15日(日)恒例の春節祭餃子パーティーで幕を開け、餃子作り後、懇親会。その席で新進気鋭の中国文学者の林雅清さんから『中國近



和気あいあいの春節祭、懇親会

世通俗文學研究』上梓の嬉しいニュースが。

2月11日(土)には、有岡が『現代に生きる漢詩』と題して杜甫の『曲江』に由来する「古稀」や杜牧の『題烏江亭』に由来する「捲土重来」などについてお話する。

3月10日(土)には、廣瀬省三副会長による『倉石武四郎—中国語教育を創った人—』と題し、①中国語の文は、中国音で読むことを主張し、実践した。②漢文を研究する大学と現代中国語を学ぶ外国語専門学校を結びつけた。③日中友好のため日中学院を創立、運営し中国語普及に全力を注ぐ。という3つの大きい功績について伺った。

開講中の中国語講座では、昨年10月から「太極拳用語を中国語で！」と学習開始。「太極拳の町、熊取」の協会ならではの中国語講座を目指しています。

(事務局長・有岡トシエ)

高槻市日中

創立30周年記念事業を 多岐に実行

当協会は今年5月18日、創立30周年を迎えます。この佳節を記念して5大事業を開催、実施する予定であります。

先立つ3大事業は、中国総領事館、府日中、高槻市の後援を得て、6月9日(土)高槻現代劇場にて行います。先ず午後1時から「日中友好茶会」と称して、裏千家社中の皆さんにより来賓と会員および

市民にお菓子と抹茶を振る舞います。引き続き2時から3時までは「中国民族芸術祭」を高槻市都市交流協会と共催で、中国民族歌手、民族音楽奏者、舞踏家5人に歌、演奏、踊りを披露してもらいます。同時に同会場内では、30年の主な歩みを写真で展示し、来場者に供覧することになっています。

この後、来賓の方々と会員で「記念式典」を挙行します。30年の主な足跡を報告した後、10年以上にわたり役員などを歴任した功労者10人と、20年以上の永年会員として協会運営に功労のあった3団体と13人の会員に、会長から感謝状を授与し記念品を贈呈します。続いて同会場にて、来賓と会員で「祝賀パーティー」を開催し30年の記念慶事を和やかに、

かつ盛大に祝うことにしています。

この他の事業としては、6月30日の定期総会において承認を得て「30周年史」の編纂を年内を目標に作成する予定です。第5番目の記念事業は、当協会のほか3団体と協調して、我が郷土の逸材・高崎達之助生家を記念館として後世に伝承していく事業に、新年度も精力的に取り組んでいきます。昭和史を語る上で欠かせない事業家、政治家として、国内外で顕著な活躍をし、多大な業績を残された氏の遺品や関係資料等を展示、紹介する記念館建設には、関係機関と協議を重ね連携を密に、また市民の理解を得ながら実現に身を入れていくことにしています。

(理事・笹井 宏)

豊中市日中

「がん早期発見プログラム」 新規の事業を 立ち上げました

豊中市日中友好協会では、この度、大阪府日中友好協会のご支援を得て、「NPO法人大阪府日中友好協会 豊中地区協会国際創健委員会」を新たな委員会として今年4月にデビューさせることになりました。

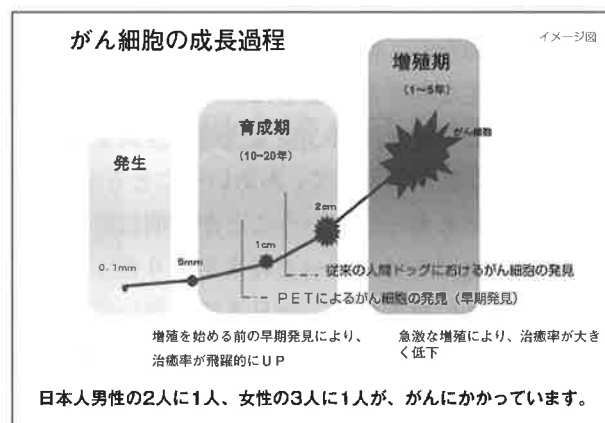
新しいスーツで社会人になったフレッシュイズや、ランドセルがピカピカの1年生と同じ気分です。不安と期待が入り混じっています。この紙面を借りて国際創健委員会の事業を紹介し、会員各位の絶大なご支援とご協力、そしてご参加をお願いいたします。

国内むけ事業

一口に言いますと、大阪府日中友好協会すべての会員の皆様や、関係者の方々及び関係団体に所属の皆様の健康維持増進に寄与することを目的に、先進医療技術を持つ検診機関の協力を得て、がんの早期発見、早期治療を目指し、会員・ご家族皆様の健康増進に役立てて頂き、安心して日中友好と人類の平和のために取り組んで頂くための事業です。

今や、日本人の死亡原因の1位を占めているのががんです。医療技術が進んだ現代でも、絶対的な治療法が確立されていません。がん細胞はある程度の大きさを超えると急速なスピードで大きくなり、増

殖する性質を持っていると言われていています。こうなると、転移の可能性が高くなるうえ、もはや手遅れというケースも多く、治癒率も低下するそうです。このことから考えても、がんの早期発見・早期治療がいかに、大切かお分かりになると思います。



健診を希望される方は、所定の申し込み用紙(チラシ裏面)を創健委員会へFAXまたは郵送して頂きますと、詳しいパンフレットをお送りします。そしてご希望の内容をもとに医療機関と調整し、しかも、特別価格で受診できるように取り扱いをしています。(検診機関のチラシを参照ください)

中国向け事業

2つ目は、国内向け事業と同じように、日本の医療技術を駆使したがん早期発見・早期治療の実現を目指す医療健診ツアーを中国人の関係者に紹介し、中国人の健康維持増進に寄与すると共に、日本と中国の相互理解と友好交流をさらに深めることを目的としています。



昨年11月上海静安賓館にて上海旅行社18社にPET健診ツアーについてのプレゼンテーション

この健診ツアーを成功させるためには、中国の対外友好協会の協力を得て、中国の旅行社や日本の旅行社とタイアップして、綿密な連携事業を展開していかなければなりません。その様なことから、大阪府日中友好協会会員の皆様のご理解と側面的なご支援が不可欠であります。

国際創健委員会は、この2つの事業を軌道に乗せるために全力で頑張る覚悟です。大阪府日中友好協会ははじめ各地区協会、並びに会員の皆様方には、何卒、ご指導、ご支援そしてご参加をお願い申し上げます。

(NPO法人大阪府日中友好協会 豊中地区協会国際創健委員会委員長 辻野健次)

八尾市日中

30周年記念式典を挙行 記念誌の発行も

昨年は、八尾市日中友好協会の30周年記念式典を挙行するにあたり、記念誌の作成をはじめ会場の準備等々で多忙な年でありました。

特に記念誌の作成では、設立当時の写真を見ると当時のことが懐かしく、ああいうこともあった、こういうこともあったということが鮮明に思い出され、友好交流団のメンバーと将来を語り合ったことが昨日のように思うのも、今日までの深い深い友好の絆と、太い太い大輪からなる交流の歴史が語るものだと思います。

お蔭様で式典も、友好都市上海市嘉定区をはじめ、中国領事館、大阪府日中友好協会、地区協会など多数のご来賓の出席のもとで盛会のうちに終えることが出来ました。

これも偏に、関係各位のご指導、ご協力の賜と衷心より感謝申し上げます。

今後も引き続き、友好交流の発



30周年記念誌

展に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

また今年も、日中国交正常化40周年の年であり、その記念事業として2012「日中国民交流友好年」と称して数々の事業が予定されていますが、とりわけ、8月北京で開催される「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」をはじめ、諸事業にどれだけ取り組むことができるか、鋭意努力して参りたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

(会長・田中順治)

河内長野市日中

「奥河内ぶたまん」を 市のブランド商品 にしたい

河内長野市日中友好協会は、昨年より地域の中国朋友と共に試作を始めた日中合作オリジナルぶたまん「奥河内ぶたまん」の、本格デビューに向けた取り組みをします。

この中核を担う人物が地元で弁当屋を営む本協会の事務局長です。

仕事場の厨房と豊富な食材・調味料を惜しみなく提供してくれる一方で、具の味付けや皮の醗酵のタイミングなど試行錯誤の末、ようやく独自の「ぶたまん」に仕上がってきました。

そこで、本協会としてこのオリジナルぶたまんを市の産業活性化に向けた取り組みのひとつである「河内長野ブランド商品認定事業」にも応募し、「奥河内ぶたまん」を市のブランド商品に昇格させる挑戦もします。



「孫文記念館」見学と「ホテル舞子ピラ」での中華料理(平23.12.11)

松原市日中

“活動はあなたの
参画から……”

皆様方と共に、日中友好活動に少しでも参加出来る事を嬉しく思います。

さて、当協会も今年で創立17年目を迎えると同時に今年の日中国交正常化40周年の年にあたり、日頃の活動に少し盛り上げる気持ちを持って和気藹々で楽しい交流活動が実践できたらと思っています。

これまで、約2ヶ月毎の諸活動を実践してゆく方向で活動しておりますが、皆様と一緒に提案しながら自分たちでできる草の根交流を地域と共に歩く交流を願っています。

そして、これからも色々な各地域での交流会にも参加して少しでも和となる交流会を願い期待しておりますので今後とも宜しくご指導をお願い申し上げます。

また、今年の新年号にてご案内致しました、松原市日中友好協会では交流活動の第一歩として新春の梅まつり時季に合わせた“中国茶で楽しむ交歓会”



中国茶で楽しむ交歓会

今後、「奥河内ぶたまん」を市のさまざまなイベント会場で積極的に販売し、得た利益を東北の復興義援金としても活用していただく計画です。

24年度も悠久の歴史を巡る晩秋の日中バスツアーの開催や、中国物産展などの見学会や中国朋友を交えた防災セミナー、手作り餃子パーティーなど地元中国朋友とさらに広く繋がり、日中友好協会ならではの魅力ある事業を展開したいと考えています。

(会長・大原一郎)

を駐大阪総領事館、松原高校よりご来賓と地域の皆様方のご参加で開催致しました、中国茶の楽しみ方は中国茶を学んだ、当協会会員による指導で味わい、体験して頂きその雰囲気を楽しみながらの短い時間でしたが楽しい一時でした、ご出席の来賓方、地域の皆様、スタッフの皆様に誌面をお借りしてお礼申し上げます。

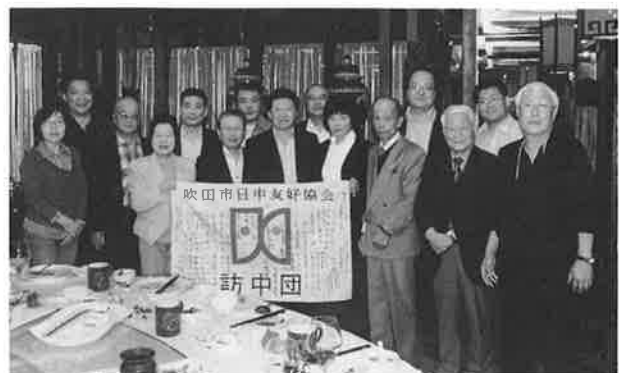
今後とも更なる交流活動に期待して皆様方のより一層のご協力をお願い申し上げます。感謝。

(会長・牛浜龍男)

吹田市日中

会員交流を活発に

10月21日～27日にかけて訪中旅行をしました。空港では帰国留学生達が出迎えてくれ、先ず中日友好協会本部を訪問、程海波交流部長に表敬挨拶をしました。同日午後6時から北京市西城区の教育館で劉占山前教育室長や帰国留学生たちと合流し、予てより念願であった結縁の絆を守ろうという宣言で「北京・吹田友人家」を設立しました。参加者全員が



中日友好協会を表敬

近況を報告し、思い出話に交流の大切さを実感しました。22日コンドス副総領事の故郷を訪問、ウルムチ病院長の案内で漢方薬の宝庫と云われる地方を見学、副総領事の母校訪問等し、ウルムチ市人民政府袁副市长歓迎宴を開催して頂く等大変な歓迎を受けました。

今後の計画としては、留学生とのさらなる交流を深めるとともに、年4回発行の会報を通じて会員に各種事業に積極的に参加できるように情報を提供していきます。(会長・高津 昇)

堺
日
中

会員にとって より魅力的な 事業展開を

堺日中友好協会の新年は「春節を祝う～堺日中協会員の集い」で始まります。

今年は、1月26日、リーガロイヤルホテル堺で開催しましたが、同ホテルで堺市長後援会の新年会も開催されておりました。両会場を掛け持ちする会員も少なくなかったようですが、楽しかったのは文句なしに「日中協会員の集い」であったのは言うまでもありません。

中国総領事館からの挨拶に続いて、堺シティオペラ歌手によるコンサートがあり、春節ムードが一気に盛り上がりました。テーブルに着いてのゆったりとした飲食、歓談の後、恒例のビンゴゲームでは、会員やホテルから提供された盛り沢山の景品の争奪戦となり、帰りには堺日中協特製カレンダーが配られ、皆で新年のスタートをにぎやかに祝うことができました。

今年は、日中国交正常化40周年にあたり数々の全国的行事や友好都市、連雲港市との交流事業等々が企画されていますが、当協会としても可能な形で積



中国総領事館からの来賓と共に

極的に参加し、日中友好の発展とともに会員にとって魅力的な事業を進展させたいと考えています。

(会長・曾我部篤爾)

枚
方
市
日
中

「ひらかた多文化 フェスティバル」の 雨天中止が残念

年度初めに事業方針として掲げた事業の中で、本年度は訪中団も組織できず、会員の獲得も不調で、沈滞した一年となった。加えて、本年度最も力を注いでいた“であい、ふれあい、世界の文化をつなげよう”第12回「ひらかた多文化フェスティバル」も、生憎の雨天にて中止になったのが残念である。本協会として、市内の交北小学校の「なかま教室」の児童とともに、中国の歌秋歌（ヤンガ）踊りで舞台出演。会員有志から協力いただいた中国関連グッズ、日用品、雑貨等の模擬店も出店する予定だったのに……。

しかし、毎年1月下旬に開催している「新年会」では会員の半数以上の参加を得て盛大に、なごやかに行えたのがせめてもの慰めである。

なお、枚方中国語を学ぶ会主催の「中国の家庭料理を楽しむ会」も、60数名の参加者で盛況だった。

(理事長・奥野 稔)



新年会 (1月27日 於・がんこ枚方店)

岸
和
田
市
日
中

泉州国際マラソン 中国参加選手を歓迎

今年で第19回を数える泉州国際市民マラソンは2月19日(日)に開催され、友好・姉妹都市の中国広東省汕頭市、上海市楊浦区および韓国ソウル特別市永登浦区から岸和田市が招待した選手4名が参加しま



中国のマラソン選手を招いて春節祭

した。

大会に先立つ2月17日の6時30分より岸和田市浪切ホールにおいて、岸和田市国際親善・同日韓親善・同日中友好の三協会が共催して、招待選手、随行者6名の歓迎会を開催しました。

参加者約70名で、選手、随行員、ホストファミリーの入場を拍手で迎えて始まり、最後に泉州国際マラソンでの健闘を期して全員で激励のエールを送り、約2時間の歓迎会を終了しました。

マラソン当日は、薄日のさす絶好のマラソン日和で、約4千名の参加者が、浜寺公園から一路泉州路を南下してりんくうタウンにいたるコースで、レー

スを繰り広げました。

招待選手のなかでは、特に上海体育学院学生の楊師選手が健闘し、2時間22分48秒のタイムで一般男子の部において一位、日本陸上競技連盟の登録選手を含む全体でも二位の好成績をおさめました。

翌2月20日午後6時より野田町会館において、岸和田日中恒例の春節祭を開催しました。

総領事館、大阪府日中から参加して頂き、更に、泉州国際市民マラソンに岸和田市が招待した中国選手と随行者、およびホストファミリーの方々を招いて、総勢32名で賑やかに春節を祝いました。

和風料理を楽しみながら和やかに歓談したあと、ビンゴゲームで盛り上がり大きな歓声がわきました。

最後に参加者全員で記念写真を撮り、8時すぎ散会となりました。

今年は、岸和田市と上海市楊浦区の友好交流締結10周年にあたります。いろいろな機会を活かして、友好交流を進めたいと願っております。

(副会長・升谷和明)

阪南市日中

市民レベルでの 草の根交流を進めたい

日中国交正常化40周年を迎えましたが、田舎の小さなわが協会にとっては、課題山積というのが実情です。

やはり大きいのは、ご他聞に漏れず会員の高齢化と減少。いろいろがんばっているのですが、なかなか結果が出ません。ただその中で、昨年来、中国でのビジネスを卒業したばかりの新会員が何人か入ってきてくれました。これは心強い。新年度からはこの人たちに役員に加わってもらい、中国での経験と知識を生かしてもらおうと思っているところです。

中国との交流では、ほぼ20年に亘って蘇州市呉中区と青少年交流を中心に進めてきました。ただ中国との場合、どうしても人民政府を介しての交流になりますが、それだけでなく、私たちが目指す市民レベルでの草の根交流をもっと進めたいし、そのため



春節お祝い会

にはどうするかというのも年来の課題です。

さらに、市内の国際交流団体との間でも、問題が生じており頭の痛いところです。

そんな中で、1月22日に恒例の春節お祝い会を開きました。中国の留学生10名を含めて参加44名。出しものは私の友人が主宰する津軽三味線と民謡のグル

ープで、中国人学生も前に出て歌うなど好評でした。また今年も高校生交流訪中団に参加した市内在住の高校生が、それもお父さんと一緒に参加してく

れました。こんな形で両国の若い世代をつなぐのも、私たちの役目の一つと思っています。

(会長・明石 啓)

大阪三島日中

餃子の会、中国茶の会 いずれも大好評でした

① 大阪三島日中友好協会では、昨年茨木市での開催に続いて、摂津市コミュニティプラザで、2012年2月19日(日)午前10時～14時30分「お父さんの餃子を作り食する会」を開催。22名(大人19名子供3名)摂津市内の市労連、教組関係、摂津市民、市会議員や子供さんの参加があり、大盛況でした。講師に曾麗紅さん(唐山市出身)、王茂斌さん(福州市出身・太極拳)で、最初に太極拳の王先生から、身体をほぐし健康になる運動を10分強楽しく指導を戴き、その後、曾講師から餃子の作り方を教示され、4班に分かれて、各班で手作り餃子を悪戦苦闘しながら作りあげ、子供さんから「出来た!」との歓声で、事務局が用意したビール、ジュースで小林摂津代表から挨拶、乾杯があり、早速自ら作った餃子を堪能。味は、全員「好吃!おいしい!」と歓声があがり、「手作り餃子の会」を継続してやって欲しい、太極拳の講習を是非企画して欲しい等多くのご意見も戴き、役員一同大感激し、次回を早速検討することになりました。

② 2012年1月30日(月)午後1時から、茨木公民館で「中国茶を楽しむ会」を開催。

講師に「中国茶芸師」劉倩さん(安徽省蚌埠市出身)、赤田さんなどを迎え、茨木市民摂津市民や大阪からも参加いただき、14名(講師含む)参

加で、奥行き深い中国茶を堪能。白茶、ジャスミン茶、プーアル茶、武夷山茶、紅茶、龍井茶など数種類のお茶を、中国古式によるお茶を淹れて戴き、中国銘菓をお茶うけに、ゆっくり、じっくり中国茶の真髓を味わいました。参加者からは是非継続して実施して欲しいとのご意見を戴き、今後も実施することになっています。

(事務局長・江原 均)

豊中市日中

魯迅と西村真琴の 交流に学ぶ

西村真琴博士が豊中市穂積に居住して大阪毎日新聞に入社し、上海事変の最なかに上海へ慰問使節団長として渡り、三義里で小鳩を救いました。魯迅日記を読むことで、知ったできごとです。

思想家である魯迅の存在があり、世界の文学者バスターンに入る魯迅を通して、豊中の西村真琴博士を知ることになりました。

たとえ国と国の関係がよくない時勢にあっても、市民と市民の友好を築いた人がいたという事実には感慨を覚えました。そして、豊中日中友好協会の歩みが始まりました。

「魯迅と西村真琴の交流に学ぶ会」を定例にし、これにあわせて親睦交流をはかる活動を組んできました。「親善のもっと進んだ日を待たねばならない」という魯迅の言葉に、道のりの遠さを感じているのは、私だけでしょうか? 西村真琴博士が戦火の中で飢えた小鳩を救ったその「命あるものへの思い、弱者への眼差し」こそが、私達の伝えたい視点でした。

まだまだ勉強不足の私達は、4年前には市民と共にシンポジウムを成功させることができました。けれど、まだまだ市民の皆さんに浸透してはおりません。そして今年、小鳩のお墓を整備して10年の節目を迎えます。今年4年前のシンポジウム以上のシンポジウムを準備していきます。

中国の魯迅先生が交流した日本人の一人、ジャーナリスト西村真琴さんは、エコロジストであり、学



手づくり餃子の会

者であり、豊中市議会の議長も経験した政治家であり、公民館長時代には、ゆたか焼きとして豊中に焼き物を広げた芸術家でもありました。そんな話も、今年は、現在の豊中市中央公民館長から聴けるように準備したいと思っています。魯迅も西村真琴も「痛みの中に身をおける人」であったと感じています。

そして、魯迅記念館からは「魯迅と日本の友人たち」写真が百点以上お借りできる計画があり、圧巻

の写真展と、そして、合体イベントなども計画しております。

なお上記の計画は「魯迅と西村真琴、そして日本の友人たち」写真展（目下仮称）とし、本年12月16日～19日、豊中市中央公民館にての開催を立案中です。確定しましたら更なる詳細についてご報告させていただきますが、何とぞ宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。（理事・寺本久子）



上海同済大学学生を 豊中市日中と共同で 受け入れます

① 1月28日 「新年のつどい」

池田市文化会館 イベントスペースにて

毎年恒例の新年のつどいで、本年は70人参加。津軽三味線の連弾演奏を冒頭に楽しんでいただきました。池田市の各界の参加者を含め、メインは、小南池田市新市長と劉毅仁中華人民共和国新駐大阪総領事との初顔あわせとなり、両方に花束贈呈。そして大阪大学留学生が中心となって、プレゼント抽選会へと、和やかな雰囲気楽しんでいただきました。

② 2月24日 みのお中国文化に親しむ会主催の講演会に、池田市日中友好協会の会員メンバーが参加。

毎回多彩なテーマで中国文化を広く市民に広めている活動をされている「みのお中国文化に親しむ会」の活動に参加させていただく。池田市日中の方は6人参加で、その他一般市民の方は30人ほどの参加があった。

●今後の計画・予定等

① 5月24日から31日の7泊8日 毎年恒例の中国同済大学の学生15名の受け入れを予定

ホームステイの会の受け入れが困難なために、窓口を池田日中とお隣の豊中日中にもお願いをして、受け入れ態勢を作る予定。

学生は、毎年この企画を楽しみにしており、池田市内の観光（ラーメン記念館、五月山着物の着付け等）、京都（金閣寺、清水寺等）、神戸（明石大橋、神戸南京町等）、大阪市内（大阪城、心斎橋、アメリカ村等）を、一巡し見学を含めて、日本の関西の主だったところ



新年のつどいで津軽三味線を楽しんだ

を案内観光する。そして、ホームステイをすることによって、日本文化、日本の家族との食事、風呂等、初めての文化に接していただく企画である。

中国に帰国して後、この学生たちの文集をまとめて、毎年一冊の感想文を作成。その中で一番印象に残ったことは、各観光地の風景、文化財よりも身近な日本でのホームステイした「家」「家族」での思い出のほうが強く印象に残っているようである。

② 5月21日 池田市日中理事会開催予定

今年の議題は、平成7年5月から使用していた池田商工会議所横の事務所が、閉鎖され10階建てのマンションと化してしまうので、立ち退きが必要となり、どこに事務所を移転するのかを協議。また、長年会長を続けられていた藤尾氏が引退をし、新会長の指名と事務局長の後任指名の協議。そして、本年の事業計画等の検討。

③ 6月22日 池田市日中友好協会総会開催予定

本総会で、役員選任、平成23年度決算また平成24年度予算案、新年度の事業計画、事務所移転の議題等、総会議題は例年になく多くなります。

そして、その後は懇親会を催します。

（事務局長・安黒善雄）

久々に多くの会員が 集まって交流会開催

3月6日、藤井寺駅前の「半すし」で会員交流会を開きました。当初の計画では、中国の研修生を囲んでの交流会でしたが、研修生が春休みで帰国中とのことで、会員同士の会となりました。井関均会長が「久々に多くの会員の出席を得て喜ばしい」と開会の挨拶、なごやかな集いとなりました。

席上で、井口和子さん（大阪健康福祉短大准教授）の橋渡しで行われた藤井寺西小学校と中国・南京市夫子廟小学校などとの交流が紹介されました。これは、子供たちの夢や思いを書いた「友情の種」と自



会員のつどい、なごやかに

画像を中国側に届け、これをもとに中国の小学生が自分たちの夢や思いを大きな絵に描いて返してくるというもの。日中合作の絵は、なんと1.52×10mもの大きさで4点もあったそうです。

（副会長・先槻 忠）

第28回 日本篆刻展

—特別展覧：中国古詩箋と箋譜—

5月15日(火)～5月20日(日)

大阪市立美術館 地下展覧会室

主 催：日本篆刻家協会

計 報

杉岡 華邨氏 当協会顧問、かな書の第一人者で日本芸術院会員、文化勲章受章者。

3月4日逝去 享年98歳

謹んでご冥福をお祈りいたします。



青年部メンバー募集！

中国好きの方、中国語を学習している方、在日中国人・留学生との交流などに興味のある方、青年部メンバーになりませんか。学生、在日中国人の方も大歓迎です！

みんなで楽しく、日中友好交流活動に参加しましょう！！

- 対 象：若い方
- 資 格：日中友好交流に関心があり、青年部活動に参加可能な方
- 会 費：年間 3,000円
（※一般会員年間 12,000円のところ）

●お問合せ・お申込み

NPO大阪府日本中国友好協会

大阪市天王寺区大道5丁目4番6号 大阪スカウト会館2F

TEL：06-6770-0080

E-mail：jcf@mail.infomart.or.jp

■入会のご案内

あなたも協会の交流活動に参加しませんか。機関紙のお届け、各種行事ご案内、中国語受講料割引など特典もいっぱいです。みんなで日中友好の輪をさらに大きく広げましょう。

- 会費（月額） 個人（1口 1000円）
 団体（1口 2000円）
 法人（1口 5000円）